

主催者挨拶

長崎地方法務局長

藤 田 進

本日は、お忙しい中、多数の皆様にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

本日、子どもと人権をテーマとする人権シンポジウムが、ここ長崎市におきまして開催されるという機会を得ましたことを、大変喜ばしく思っております。

さて、現在、子どもたちの中には、いじめ、体罰、児童虐待などの様々な問題が生じており、このような問題に直面した子どもたちは、不登校やひきこもり状態になったり、最悪の場合、自ら命を絶つケースもあります。また、平成24年8月に内閣府が実施した「人権に関する世論調査」によると、子どもに生じていると思う人権問題の種類について複数回答で聞いたところ、「いじめを受けること」を挙げた方の割合が76.2%と最も多く、以下、「虐待を受けること」が61.0%、「いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事」が55.8%でこれに続くという結果となっています。

このような中、全国の法務局、地方法務局及び人権擁護委員を中心とする法務省の人権擁護機関では、啓発活動の中でも、特に強調して啓発すべき課題として、「子どもの人権を守ろう」を含む、17の課題を掲げ、学校、地域社会、職場など様々な場面を通じて、各種の啓発活動に取り組んでいます。また、このような活動を通じて、人権侵害の疑いのある事案を認知した場合には、被害者の救済のため、速やかな対応をすることとしています。

本日の人権シンポジウムのテーマは、「子どもと人権～いじめ・体罰・虐待のない社会を目指して～」です。子どもたちが直面している問題に取り組む専門家を招き、人権的観点から議論いただくことにより、次代を担う子どもたちの健やかな育成のために、私たちに何ができるのかを考えていただきたい、との思いから、このテーマを選定いたしました。

本日のシンポジウムにおけるパネリストは、いじめ、児童虐待、体罰、不登校等の問題に関わる学識経験者・実務者であり、いずれもこれらの問題に造詣の深い方々です。また、シンポジウムに引き続き作家の志茂田景樹さんのトークショーも予定しており、童話の読み聞かせボランティアやtwitterによる人生相談における御自身の体験談等について語っていただくこととしております。どうか最後まで御参加いただき、「子どもと人権」という大切なテーマについて改めて考えていただければと思います。

なお、本日のシンポジウムの模様は、後日、インターネット上のYouTubeの人権チャンネルなどに掲載することを予定しています。更に多くの皆様に、本シンポジウムの内容を共有していただきたいと思っておりますので、本日この会場にお集まりいただけなかった方にも、是非お伝えいただきますようお願いいたします。

最後になりますが、本日のシンポジウム開催につきまして、各方面から賜りました多大の御支援、御協力に対し、心から感謝申し上げ、私の挨拶といたします。